

どうされましたか??



ひつだん ねが 筆談をお願いします



わかりません



はい



いいえ



トイレに行きたい

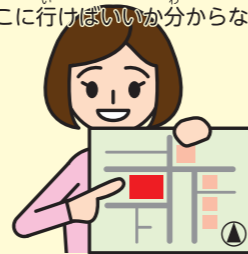


食べたい/飲みたい



道を教えて

(どこに行けばいいかわからない。)



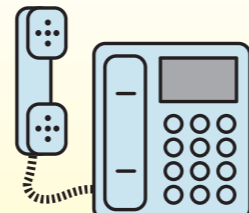
痛い・苦しい

すごく

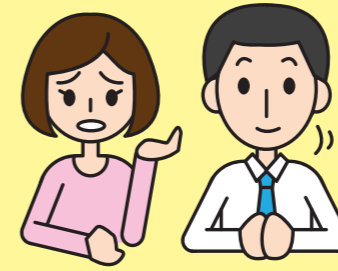


すこし

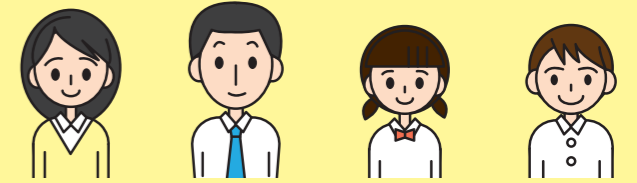
電話をしてください



相談が
したいです

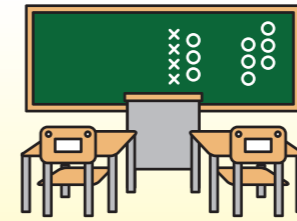


に会いたいです



ここに行きたいです

子供の教室
年 組



授業参観の
場所



職員室



体育館



教育相談室



進路指導室



証明書がほしいです

在学証明書



通学証明書



成績・
卒業証明書



手続き/支払いがしたいです

転校などの
手続き



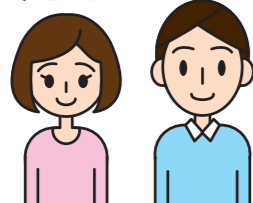
お金の支払い



教えてください

あなたの

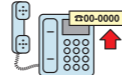
名前



住所



電話番号



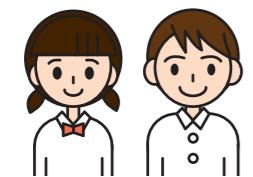
お子さんの

学年

組



名前



行きたい場所は、どこですか？

駅



バス停



タクシー乗り場



市役所 / 役場



コンビニ・お店



銀行



病院



警察



持っていますか？

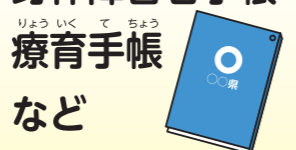
印鑑



個人を証明するもの



身体障害者手帳・療育手帳



携帯電話



10000 円



5000 円



1000 円



500 円



100 円



50 円



10 円



5 円



1 円

コミュニケーション支援ボード活用マニュアル

コミュニケーション支援ボードとは…

コミュニケーション支援ボードとは、知的障害や自閉症、聴覚障害のある方など、話し言葉で意思や状況をうまく伝えられない人たちのための支援ツールです。このコミュニケーション支援ボードで、すべての会話ができるわけではありませんが、絵や単語などを、指さしをすることなどにより、安心してコミュニケーションを図ることができます。

ぜひ、このコミュニケーション支援ボードを活用して、「どうされましたか？」と最初の声かけを行ってください。

使い方

- Step 1 困っていそうな方を見かけたら、声をかけましょう。
- Step 2 話しかけるポイントは、「ゆっくり」、「丁寧に」、「明確に」、「繰り返して」です。
- Step 3 話しかけても相手と十分にやりとりができない場合は、コミュニケーション支援ボードを提示してみましょう。自分で、指さしをすることが困難な方の場合には、こちらが指さしをして「〇〇ですか？」と尋ねてみましょう。
- Step 4 相手が文字の読み書きができる方の場合には、筆談でコミュニケーションを図るなど、一人一人のコミュニケーション方法に合わせた対応を心がけましょう。

対応のポイント

- 説明を行う場合には、ポイントを簡単な文章でメモ書きして示すことや、必要に応じて漢字にふりがなを振り、説明しましょう。また、絵や図、写真などを使用して説明すると、分かりやすくなることもあります。
- 車椅子を使用している方には、少しかがんで、その人の目線のある高さで話しましょう。立ったまま対応することが難しそうな方には、椅子などに座っていただき、用件を伺いましょう。
- 視覚障害のある方には、こちらが職員であることや名前を伝えた上で、伝えたい内容を説明しましょう。「あちら」、「それ」などの指示語を使わず、具体的な言葉で説明しましょう。拡大文字の文書を希望される場合は、資料を拡大コピーして渡したり、必要に応じて文書の原文をそのまま読み上げたりして説明をしましょう。
- 聴覚障害のある方には、最初に互いのコミュニケーション方法を確認しましょう。筆談を求められた場合には、紙やホワイトボードなどを活用して筆談でのやりとりを行いましょう。また、スマートフォンやタブレット端末で利用できるコミュニケーション支援アプリ (Speech Canvas) を活用し対応することもできます。

